

平成 29 年度「提案公募型事業」申請書類(2)  
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	ており しょうぼう ひ 手織工房 陽だまり						
ふりがな 代表者名	おお くま さきこ 大熊 美子						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	<input checked="" type="radio"/>	【○】心地よく安心な港まちで暮らす					公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	<input type="radio"/>	【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う					
	<input type="radio"/>	【□】みんなと港まちを創る					
提案事業名	「好玉に好玉に織る」手織り						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	5	1	1	1	0	0	円
期間 (準備～事業終了日)	平成29年6月1日～平成30年2月18日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

・ 幅広い年齢層の人々が 共通の興味をもち通して  
集える 居場所となる

・ さらに どの輪が広がっていく 場所となる

(2) 事業の概要

・ スタッフの説明を受けながら 手織り体験する

・ 抹茶とお菓子をゆっくりと楽しむ。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

- ・ 母子まな系を選び横系を用意する。
- ・ 手順を説明し織りを始める。様子を見ながら手取り織りの四つのポイントを紹介する。
  1. 思いきって冒險しよう。
  2. 機械と人間の両方に考えよう。
  3. キラキラと輝く目をもち
  4. グループのみんなと学ぼう

一人一人違っている！ 違うことを楽しむのがいい感じのよう。
- ・ 一人60分の無料体験（鞆の布は持ち帰る）
- ・ 期間中にこの糸の作り方を組み入れる→数種、仕上げの物
- ・ お抹茶のコーナーも設け、お茶とお話しよう。
- ・ 参加者をフライトカードで撮り会場に表示

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

実施日 ⇨ 平成29年7月～平成30年2月 水・金・土・日  
10:00～16:00

実施場所 ⇨ ほろぼ工房 (当日先着順受付)

3. 想定参加者人数・参加者層

想定参加人数 ⇨ 240名

参加者層 ⇨ 幼児から高齢者(男女)

(小工場の幼児も親子で、品カ(子)から織る様子は微笑ましくお思いとてTシャツの作りと奥)

## (4) 広報手段

- ・田代内会の回覧やポスターの配布
- ・地域周辺のお店やビュティを配布  
(区役所、西華地コニエーセウ、喫茶店、公設など)

## (5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

- ・4月中旬⇒無料体験開設の打合せ
- ・4月下旬⇒開設準備-会場決定、系、部品等の目録
- ・5月初旬⇒チラシ目録
- ・5月中旬⇒系、部品購入、チラシ、法文
- ・6月初旬⇒チラシ配布
- ・7月⇒実施 (ホニ金、土、日)

## (6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

- ・手織りの無料体験(一人60分)
- ・織機2台
- ・スタッフ 一月3名
- ・参加者には「好みに好みに」織るの「教えないで引き出す」自由な手織りを伝える
- ・会費は経理を担当する

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

- ・ 28年度の「提案公募型事業」に参加し、今回ワークショップがより充実したものに「なる」実施
- ・ 金曜日、土曜日、日曜日と休日も入るので、より多くの人の参加を望む。
- ・ 周辺地域への周知が足りないと感じるので、より周知を工夫する。

(2) 積算の妥当性

- ・ 業者による見積りより妥当性を高める。
- ・ 必要最低限の消耗品に抑える。

(3) 公益性・社会貢献性

- ・ 前回参加した人々から「楽しかった!」「とても時間がもった!」などと喜び声を聞くことができた。今回もより多くの人々に楽しい体験ができる。

(4) テーマとの整合性

- ・ 織りを通じて自分たちの心地よい居場所を作り、地域の人々へのつながりへと広がっていくことを期待。
- ・ 新たに「お茶の道」を設けてお茶の空間を楽しくももらいたい。

(5) 将来性

- ・ 織りつづけることで、自分たちの「潜んでいるもの」を引き出していく。
- ・ 織りの奥の深さを知らせよう伝えていく。
- ・ 一人一人違っている。違うことを楽しむ体験をする。

(1) 支出の部

項目	金額(円)						
①外部講師謝金							円
②旅費交通費							円
③会議費							円
④物品購入費		1	1	1	8	0	0 円
⑤借上料		1	2	0	0	0	0 円
⑥保険料							円
⑦人件費		2	1	6	0	0	0 円
⑧委託外注費			6	1	3	0	0 円
⑨通信費							円
⑩印刷製本費							円
⑪事務費等				2	0	0	0 円
<b>総支出合計=A</b> (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)		5	1	1	1	0	0 円

- ※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。
- ※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

項目	経費の内訳 人数、単価、数量、回数等の明細を具体的に記入してください。
①外部講師謝金	
円	
②旅費交通費	
円	
③会議費	
円	
④物品購入費	綿糸 10,000円 ウール糸 10,000円 糸 10,000円 麻糸 10,000円(10,000円) 糸 10,000円 袋 6,000円 × 2枚 ハンド 5,450円 × 4枚 抹茶 8,000円 干菓子 2,000円 本字印刷 10,000円 × 3本
111800 円	
⑤借上料	
120000 円	ほろぼ工房 5,000円 × 24日
⑥保険料	
円	
⑦人件費	
216000 円	3,000円 × 3人 × 24日
⑧委託外注費	
61300 円	本字印刷 10,000円 × 2000枚 本字印刷 48枚 (毎月普通3枚 3枚 × 8ヶ月)
⑨通信費	
円	
⑩印刷製本費	
円	
⑪事務費等	
2000 円	文具一式
総支出合計=A	
511100 円	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください